

jormungand military chronicle -vol.2-

「ヨルムンガンド」そのディープな
ミリタリーコンテンツを紐解く

ヨルムンガンド ミリタリークロニクル

「ヨルムンガンド」の魅力の一つとして、作品に登場する銃器、そして装備品に関してのアリアティが挙げますが、当コーナー「ヨルムンガンド・ミリタリー・クロニクル」では、そういった本作に登場する銃器及び装備品の深さを「ピックアップ」し解説していきます。

というわけで第二回目を迎えた今回では、第一期の後半をラストまで追っていきます。お待ちかねの第二期スタートも間近ですから、これを機におさらいしておきましょう。状況開始ツ。

まず冒頭部分では、ヨナとルツがペイントガンを使って山でフラグ戦というレーニングシーンから始まります。ここで二人が着用しているのがイーグル製のLVACというアーマーキャリア。ペイント弾でも当たるとかなり痛いですからね…。コミックスでは後半からココ部隊の中核となる装備ですが、アニメではこ



筆者も休日にサバイバルゲームをやるのですが、たまにいるんですよ、こういうヨナみたいな何か超越してしまっててる人が。だからこそ、ココ部隊の中でもルツってなんだか親近感があるんですね(←フォロー)

LBT製の1961チエストリグとこのLVACを組み合わせることによって、各作戦に対応した装備をセットアップしている模様です。軍ではあまり見られない組み合せですが、HCL-1の民間というスタンスでは、LVACのコンシールメントな様相でありますから各バリスタイルクレベールに順応できるこのチョイス、非常に考えられています。

さて、このエピソードでの戦闘シーンはルツの夜間ににおける狙撃シーンぐらいなのですが、実は面白い描写が多いんです。まずルツとワイリーが着ている「赤外線スーツ」なんですが、これは米軍でナイトカモバーカーと言われているもので、その名通りナイトビジョン（暗視装置）で視認されにくい処理がされています。

古くからあるものですが一躍有名にさせたのが1991年の第一次湾岸戦争でしょう。結局早すぎたスペックとも言われていますが、一部特殊部隊では昨今の対テロ戦争でも使っていたものなんです。もしかしたら元デルタフォースのチームがルツに授めたアイデアかもしれません。

逆にルツとワイリーが使っていたナイトビジョンスコープはPVS-10といわれます。ここではスポットターのワイリもるモデルで、現在では旧式となりました。がナイトビジョンスコープと言つたらコレ、という印象は個人的にも強いアイテ



ナイトカモはパークーとバンツの上下セットであり、基本的にBDUの上から着るものなので季節によっては暑いかも…。現在の米軍では支給されているわけではないので、意外と古着屋さんで見かけたりもしますね。



まるで大きな翼が生えたかのように広がる、An-12のフレア放出。これはアニメならではの表現が活けるシーンでしたよね。この直後に赤外線誘導ミサイルが全弾外れていく描写もいいんだこれが。

に特徴的だったのはフレア。よくこのフレアを放出している航空機の写真って目にする機会が多いかと思いますが、特に輸送機からのフレアは翼のようでとても綺麗ですよね。よく一般の方にミサイルと勘違いされますが、赤外線誘導ミサイルから身を守るための役割をするのです。

第11・12話「滅びの丘」

突然ですが、バルメの名前の由来についてご存知でしたか？このエピソードではソフィア・ヴエルマー少佐と少女時代のココが出会ったシーンがあります。バルメとはココが名付けたある種のあだ名的なコードネームであったわけですが、バルメというのはフィンランドを代表したメイカーというか複合会社のこと。

フィンランド国防軍が採用したライフル等を製造し、他自動車や造船をはじめ様々な分野で名を馳せました。感覚的にもトージョが「ミツビシ」とか呼ばれていたかも：なんて感じでしょうか（笑）冒

佐の部隊でも、バルメ製ライフルが使われていたと思います。

さて、このエピソードではココ部隊対殺し屋三人組と、バルメ&ヨナ対大星海公司という二つのマッチアップがあつたわけですが、まずは前者。ココ部隊の宿泊先を襲ったグレゴリリーアーヌは、電気が落とされた暗闇の室内でもアドバンテージを得るためPVS-7というナイトビジョンゴーグルを装備。一つ目のサイクロープスを彷彿とする見た目は個人的にも好きなんですね…。

使用銃器は、まずボス・ドミニクがS&W M9 45コンパクト。そしてリリーアー又がレミントンM870をベースにカスタムしたスキヤッターガン、14インチ。さらにストックレスにバヨネットと独自のカスタムもされている結構エグい仕様。カワイイ顔して…こんな。

またココ部隊ではウゴのI-M-デザートイグルをココが撃つ、というシーンもありましたね。デザートイグルについては様々な作品に登場する有名なハンダガンですのでご存知の方も多いはず。オートマチックでは最大の50Aエンドの大口径の弾薬を撃つことができるのですが、これはG26とのこと。ボス・ドミニクの助手席でも当たったココは結構な腕前のことになりますね(笑)。

またグレゴを背後から撃つたレームの格口ですが、これはG26とのこと。非常にコンパクトなハンドガンで、レームに当たってはメインとして使っていないもののですから、サブとして隠し持つていたと思われます。ただ全弾叩き込むもグレゴの防弾装備によって結果不意打ち失

奪ったSVUでバルメをサポート！なヨナがカッコいいの図ですが、こんな珍しい狙撃銃をセレクトしていた李さんのマニア受けするセンスも、もっと評価してあげて！

次に一方バルメ＆ヨナが大星海公司のプラントに乗り込み、ついに実現したバルメVS陳！なわけですけれども。まず陳さんの愛銃はC Z 52に独自のブレードが付けられたもの。しかも二挺拳銃。口径は悪名高いトカレフと同じ7.62×25弾を使います。C Zというとまず思い付くのがC Z 75で、こちらは特にファーストモデルは世界最高の一挺との呼び声も高い傑作機でした。

そして個人的に注目していただきたいのが、陳の部下である李のスナイパーライフルです。こちらはKBP SVUといいまして、ご存じの方も多いと思う東側を代表する狙撃銃ドラグノフ（SVD）をブルパップ化させたもの。これが登場した時はさすがに驚きました。

なんて言うんでしょうかね、そのセレクトの妙と言いましょうか。思わず「やられた！」って思ったと同時に、「高橋先生ブルパップ好きだなあ」と（笑）

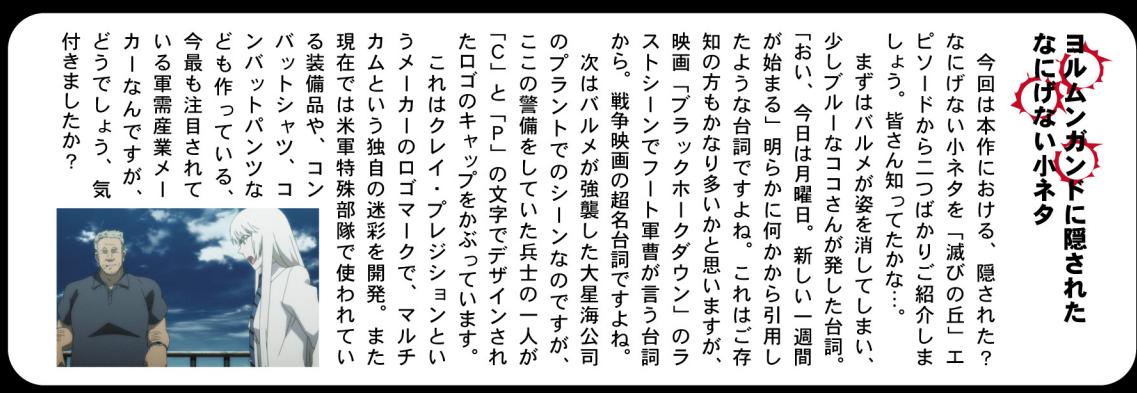
ヨルムンガンドに隠された なにげない小ネタ

今回は本作における、隠された？
なにげない小ネタを「滅びの丘」工
ピソードから二つばかり紹介しま
しょう。皆さん知ったかな？。

まずはバルメが姿を消してしまい、
少しブルーな「ココさん」が発した台詞。
「おい、今日は月曜日。新しい一週間
が始まる」明らかに何かから引用し
たような台詞ですよね。これはご存
知の方もかなり多いかと思いますが、
映画「ブラックホークダウン」のラ
ストシーンでフート軍曹が言う台詞
から。戦争映画の超名台詞ですよね。

次はバルメが強襲した大星海公司
のプラントでのシーンなのですが、
ここに警備をしていた兵士の一人が
「C」と「P」の文字でデザインされ
たロゴのキャップをかぶっています。

これはクレイ・ブレジションとい
うメーカーのロゴマークで、マルチ
カムという独自の迷彩を開発。また
現在では米軍特殊部隊で使われてい
る装備品や、コン
バットシャツ、コ
ンバットパンツな
ども作っている、
今最も注目されて
いる軍需産業メー
カーなんですが、
どうでしょう、気
付きましたか？



Jormungand Military Chronicle -Vol.2-

Text by fujiwai